

文化財分科会企画調査会でのご検討に向けて (「文化財の一体的活用と地域振興に向けた制度改革」に関して)

6月21日(水)第2回文化財分科会企画調査会
 (公社)全国国宝重要文化財所有者連盟(全文連)

1. 全文連について

- ・国宝・重要文化財(建造物・美術工芸品)の所有者等の集まり。
- ・昭和52年9月全国の文化財所有者の有志により今日の「全文連」の基礎となる組織が発足。平成4年に社団法人に、平成24年に公益社団法人に。



文化財保存・管理ハンドブック
 —建造物編— —美術工芸品編—



—リーフレット— —全文連通信—

2. 国宝・重要文化財所有者の現状・課題

○日常的な維持管理

- ・過疎化・高齢化等による担い手の減少
- ・無住社寺の増加による管理体制の不備
- ・氏子、檀家減少による支援者不足、財政不安定
- ・防災・防犯設備の不備・老朽化

○保存・継承

- ・修理資材や修理技能者などの後継者不足
- ・修理費用の調達難、自然災害等の突発的な出費

○公開・活用

- ・公開に対応する人員
- ・公開設備の不備
美工作品：展示ケース、免震台、照明、収蔵庫、防犯カメラ等
建造物：耐震対策、消火設備、解説板、パンフ、防犯カメラ等
- ・活用に関する課題

3. 文化財の一体的活用と地域振興に向けて必要な対応

- ・地域の宝たる文化財を地域で支える体制
(文化財は国民の宝という啓発が重要。活用のためにも修理や日常管理が必要。管理・活用には人手も資金も必要であり、所有者だけの管理は限界。地域全体の協力が必要不可欠。資金調達もクラウドファンディング等多くの人を巻き込む工夫が必要。)
- ・自治体の積極的な関与を期待
(所有者が保存・修理・活用方法等について相談できる場所が必要。周遊ルートの設定・文化財の魅力解説など普及啓発が重要。自治体や住民など地域みんなで取り組むためにも地域ビジョンを明確に。)
- ・適切な保存・活用の確保
(いかに適切に保存・活用のバランスを取っていくことが可能か。
担い手・資金が減少する中で、文化財をき損することなく活用するための警備体制や公開設備などはどう確保していくか)
※ 全文連でも『文化財保存・管理ハンドブック』等の実務マニュアルは作成済み
- ・国家戦略としての横断的な取組
(文化財単独ではなく、まちづくり・観光・産業などと連携し、国家戦略として取組むことを期待)